

■「ライブラリ」のバージョン管理について

昨年頃より、「SharePoint Online」の世代管理の設定内容が変更されました。

以前：ブラウザーより「ライブラリ」の設定画面で設定が可能管理無し、バージョン設定「1～」

現在：ブラウザーより「ライブラリ」の設定画面で設定が可能管理無し、バージョン設定「100～」

この設定最小値だと、サイズの大きい資料や画像ファイルを入れ替える度に、世代管理され、テナント全体のリソースの空き容量を頻拍する事が予想されます。

設定・バージョン設定

コンテンツの承認

新しいアイテムまたは既存のアイテムへの変更が承認されるまで下書きの状態にしておくかどうかを指定してください。 [承認の要求に関する詳細](#)

送信されたアイテムに対してコンテンツの承認を必須にする

☐ はい ☒ いいえ

ドキュメントのバージョン履歴

このドキュメント ライブラリのファイルを編集するたびにバージョンを作成するかどうかを指定してください。 [バージョンに関する詳細](#)

このドキュメント ライブラリのファイルを編集するたびにバージョンを作成する

☒ メジャー バージョンを作成する
例: 1, 2, 3, 4

☐ メジャーとマイナー (下書き) バージョンを作成する
例: 1.0, 1.1, 1.2, 2.0

次の数のメジャー バージョンを保存する:

☐ 次の数のメジャー バージョンの下書きを保存する:

下書きアイテムのセキュリティ

下書きとは、マイナー バージョンまたは承認されていないアイテムです。このドキュメント ライブラリの下書きを表示できるユーザーを選択してください。 [下書きを表示して編集できるユーザーの指定に関する詳細](#)

このドキュメント ライブラリの下書きアイテムを表示できるユーザー

☒ アイテムを閲覧できるすべてのユーザー

☐ アイテムを編集できるユーザー

☐ アイテムの作成者およびアイテムを承認できるユーザー

チェックアウトを必須にする

このドキュメント ライブラリに変更を加える前に、ユーザーがドキュメントをチェックアウトする必要があるかどうかを指定してください。 [チェックアウトの要求に関する詳細](#)

ドキュメントを編集する前に必ずチェックアウトする

☐ はい ☒ いいえ

OK

キャンセル

SPO豆知識⑤_「ライブラリ」のバージョン管理について

【対策案】

バージョン管理をしない設定「バージョン設定=1」にする事で履歴ファイルを保持しなくする設定例案は、「SharePoint Designer2013」で任意のライブラリをクリック(選択)し、「設定」部の「☒アイテムを編集する事」のチェックを外し、「☐アイテムを編集する事」とすれば設定完了です。

このドキュメントライブラリのファイルを編集するたびにバージョンを作成する

- ☒ メジャーバージョンを作成する
例: 1.0, 1.1, 1.2, 2.0
- ☐ メジャーとマイナー (下書き) バージョンを作成する
例: 1.0, 1.1, 1.2, 2.0

次の数のメジャーバージョンを保存する:
500

この画像ライブラリのファイルを編集するたびにバージョンを作成する

- ☒ バージョンを管理しない
例: 1, 2, 3, 4
- ☐ メジャーバージョンを作成する
例: 1.0, 1.1, 1.2, 2.0
- ☐ メジャーとマイナー (下書き) バージョンを作成する
例: 1.0, 1.1, 1.2, 2.0

次の数のメジャーバージョンを保存する: